

令和4年度 第2回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会 議事概要

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和5年3月20日(月) 10時00分～11時30分
- (2) 場所 さいたま市役所消防庁舎 関係課会議室

2 出席者

(1) 委員

新保	奈穂美	委員
平野	奈緒	委員
深堀	清隆	委員(会長)
加倉井	憲一	委員
佐々木	明男	委員
倉林	克昌	委員
久間	亜紀	委員
星	友治	委員(代理出席:野田 浩一郎氏)

(2) 事務局

みどり公園推進部長	麻生 和彦
みどり推進課長	飯野 慎一
見沼田圃政策推進課長	秋山 浩一
都市公園課長	川名 啓之
みどり推進課	課長補佐[兼]係長 井口 宏樹、係長 佐久間 新、 主査 村田 光司、主任 中村 亮太、 技師 児玉 将吾、主事 武井 健太

(3) 書面による意見提出

土屋	一彬	委員
今	佐和子	委員

3 傍聴者数

0人

4 議事概要

(1) 議題

深堀会長 議題「さいたま市緑の基本計画改定版素案について」となります。まずは、今後のスケジュールについて、前回から審議会でもご提示されましたが、改めて事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1の説明

深堀会長 今回の審議会では、これまで約2年半程度、緑の基本計画の改定に向けて議論を重ねてきたところであり、これまでの各委員からの活発なご意見やアイデア等を踏まえ、緑の基本計画改定版の素案を取りまとめることとなります。審議会の答申として、4月に予定しているということでございます。皆様、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

深堀会長 異議が特段ないようですので、こちらのスケジュールで今後進めていきたいと思えます。

続きまして、資料2素案について、事務局よりご説明をお願いします。前回の審議会では、主に次の3点の意見が多かったと考えております。1点目は、公園像及び緑地像の本編構成上のつながりやイメージスケッチへのご意見、2点目は、リーディングプロジェクトに示すとおり、生物多様性とグリーンインフラの方向性のご意見、3点目は、部局間連携等の推進体制のご意見大きくこの3点だったものと認識しておりますが、皆様よろしいでしょうか。

今回の審議会では、緑の基本計画素案の取りまとめとなることから、最後に、各委員からひと言ずつ、素案への思いや期待なども、ご意見を頂戴できればと思っております。では、事務局から本編への反映状況などを中心に、素案の説明をお願いします。

事務局 資料2の説明

深堀会長 ありがとうございます。ただ今の説明について、ご質問等はございますか。

倉林委員 素案の公園像と緑地像について、イラストから引き出し線で解説する示し方が分かりやすいと感じました。手に取って分かりやすい工夫が今後も必要と考えます。

新保委員 公園像、緑地像は分かりやすくなったと思えます。一般の方にレジリエンス、カーボンニュートラル等の言葉がすぐ分かるように、簡単な説明の注釈あるいは用語解説のページをいれた方が良いと思えます。

事務局 今後、緑の基本計画巻末に用語集を作成する予定です。文章の途中で用語解説する場合もあることから、今後本編を仕上げる段階で、記載方法を検討したいと考えます。

- 深堀会長 公園像、緑地像は、市民に分かりやすく伝える性格のページであり、このページを拝見して、カタカナ用語が理解できるように配慮しても良いのではと思います。また、土屋委員の意見として、計画を代表する全体スケッチのイメージがあった方が良いとのご意見がありますが、事務局ではどう考えますか。
- 事務局 緑の基本計画の特徴は「4つの緑の力」と認識しています。イラストや図を組み合わせて、「4つの緑の力」をわかりやすく伝えられるようにしていきたいと考えます。
- 深堀会長 今委員の意見として、80頁（1）新たな公園像の実現及び、81頁（2）新たな緑地像の実現について、施策とのつなぎの一文を追加頂きましたが、82頁（3）グリーンインフラの取組によるSDGsの達成に関連付けることはできないでしょうかとのご意見ですが、事務局ではどのように考えますか。
- 事務局 文言を整理して、緑地像、公園像に関するキーワードをSDGsのイラストに反映する可能性を検討したいと考えます。
- 深堀会長 公園像、緑地像とSDGsドミノは、説明したい内容、方針が違うので、公園像、緑地像の要素をSDGsドミノのイラストに全て入れ込むことは難しいと考えます。SDGsドミノのイラストの一部は、公園、緑地に関連していることから、当該箇所の文言の整合は必要と考えます。
- 土屋委員のご意見として、緑の基本計画を代表する1枚のスケッチについて、新たに1枚を作成するというよりは、緑の基本計画を伝える概要的な要素を用意した方が良いと思います。その際、公園像、緑地像、SDGsドミノ、施策体系図など、緑の基本計画を説明する場面で使い分けていくことも必要と思います。
- 事務局 今回のご意見を踏まえ、緑の基本計画の概要版として、リーフレットを作成することも検討したいと考えます。
- 加倉井委員 見沼田圃でのカーボンニュートラルは重要な取組と思います。見沼田圃の土中には江戸時代のヨシが存在し、炭のような状態になっています。完全に炭化させることで、水の抜けが良くなると思います。現在多くの農地が耕作放棄地ですが、そのままにせず、地下を活用することが大事だと思います。また、生物多様性の視点からは、耕作放棄地が単一の植物で覆われるよりも、畑とその周辺に雑草がある環境が大事だと思います。
- 事務局 グリーンインフラや生物多様性を緑の基本計画素案には明記しています。また見沼田圃アクションプランにもグリーンインフラと生物多様性の推進を明記しているところであり、具体的な施策は、市民

団体と連携して、そのアクションプランの中で今後展開していきたいと考えています。

倉林委員 先日、学生が参加したワークショップ等を開催しているところですが、今後も子どもたちの意見を大切にしてほしいと思っています。

深堀会長 土屋委員からは、「地域の植木生産者等との連携」は、さいたま市らしい素晴らしい取組である一方で、植木文化の継承には課題もあるのではないかと、また植木生産地域で農地を含む緑地保全も同時に進められることで、緑化推進と緑地保全とが一体的に進められることを期待しているとも述べています。

新保委員 植木が生産されるエリアを今後把握したほうが良いと思います。

深堀会長 植木産業との連携は重要なポイントであり、アピールしていく必要があると思いますが、農地をグリーンインフラとして捉えた時に、生産緑地、市民農園に関する今後の施策について考えはありますか。

事務局 資料2の74頁には、都市緑地法の改定などを準拠して施策を明記したところです。また、さいたま市都市計画審議会では、すべての生産緑地の管理が十分かという意見もあったところです。今後、高齢化の維持管理ができないことも想定される中、そのようなことを踏まえ、関係部局と連携して、買取申し出が生じる場合への対応も検討していきたいと考えます。

深堀会長 各種支援と合わせて、データを活用して生産緑地を適正に管理することも重要な視点だと思います。

新保委員 特定生産緑地について、現案以上に細かく記載することは難しいので、計画書の記載内容はこのままでよいと思います。10年後に特定生産緑地の期限が来た時にどうするのかは、先行して考えておいた方がよいと思います。

深堀会長 ここで、今後の期待や緑の基本計画への思いなどを各委員からいただきたいと思います。

平野委員 これまでにさいたま市教育委員会の取組みである土曜チャレンジスクールの主催者として小学生と触れ合う機会がありました。幼い頃より身近な緑に触れ、地域に愛着を持ち自分事として捉えてもらうことが重要で、それがSDGsにもつながると思っています。また、アンケートは大変興味深く、市民の皆様の貴重な声を聞く機会であると考えております。市民アンケートやウェブ版も実施されましたが実施時期が異なるので、今後はアンケートの実施時期を統一した方がよいと思いました。また、緑が芽吹く春や草花の伸長が旺盛な初夏に実施すると異なる結果が出るのではないかと感じました。

- 加倉井委員 ボランティア活動した際、学校の先生から、こんなに良い場所があるのかという意見がありました。この緑の基本計画を学校の先生にもしっかり読んでほしいと思います。さいたま市が目指す公園のスタイルが3つあることが良く理解できました。今後も、都心と緑の充実は連携して行ってほしいと思います。見沼田圃と斜面林、見沼自然公園の管理を将来の子どもたちのためにもよろしくお願ひしたいと思ひます。また生物多様性の観点からも、しっかりした管理を市にお願ひしたいと思ひます。
- 佐々木委員 先日20人ぐらいの方を見沼通船堀に案内しました。周りの木が無くなり、随分変わってしまったと感じています。歴史の話をしてても伝わりづらひと思ひます。武蔵野の自然を壊さず保全して、周りの方に十分に楽しんでもらいたいという思ひがあります。見沼区ではオープンガーデンを実施しています。自然を守っていった方が良く思ひっており、緑地は公園と違ふので、樹木を残していくべきと感じています。都市化されるほど、このような取組が大切だと思ひます。
- 倉林委員 コロナ禍の中でこのような計画ができたことは非常に良かったと思ひます。モニタリング指標を導入する考え方を示せたことが特徴の計画となり、良かったと思ひます。リーディングプロジェクトの良さが組み込まれましたが、ガーデンツールズを推進するにあたり、今後の庁内体制として各区との連携が必要と思ひます。今後は、色々な関係者と手をつないで取り組んでいくことが大切だと思ひます。
- 久間委員 グリーンインフラ、カーボンニュートラル、生物多様性など、さいたま市では様々なことを取り組んでいると理解できました。今後、リーディングプロジェクトを展開するにあたり、人材育成が大切で、一人でも多くの市民が参画し、市民が中心となる取組になるということが大切と思ひます。計画はとてもよくできていると思ひます。DXの取組に今後の可能性があり、樹木のGIS化というように、緑に興味がない方にも、デジタルを通じて関心を引き付けられる可能性があると思ひます。
- 星委員 (代理野田氏) リーディングプロジェクトの実現に期待しており、特に、公民連携によるプラットフォームの構築、更なる水平的な展開に期待しています。
- 新保委員 課題をpushし、実情を丁寧に分析した結果、意欲的でありながらも堅実な計画になったと思ひます。今後は、緑の基本計画自体を広報していく必要があり、その際は神戸市が参考になると思ひます。広報とともに、リーディングプロジェクトなどスピード感を持って取り組んでほしいと考えます。暮らしやすさがさいたま市の魅力であり、暮らしやすさの要因は、交通に加えて、土地利用のバランスにあると思ひます。

います。さいたま市が、魅力ある都市のままであるためにも、今回改定する緑の基本計画は非常に重要であると考えます。

深堀会長 各委員の皆様のご意見をまとめると、緑の基本計画は十分に良くまとまったところと思います。是非この内容の実現に向けて取り組んでほしいという趣旨が総論と捉えました。具体的には、時代の要請に合わせてスピード感をもって進めていくことと、基本計画の内容を伝えていくことが大事であり、広報、デザイン、用語解説など、重要な視点が挙げられたと思います。子どもたちにどう伝えるのか、子どもを教える先生にどう伝えるのかという課題認識もありました。緑の基本計画の改定着手時は、グリーンインフラとSDGsをどのように捉え、方向づけるのかを期待していましたが、多々検討いただいた結果、期待に応えるものになったと思います。特にSDGsの考え方でモニタリング指標を設定した点は非常に意味があると思います。SDGsの意義は、ある特定の分野で取り組む際に、普遍的な価値を切り捨てないところにあります。緑の分野でもSDGsで評価することは非常に重要となります。グリーンインフラの考えの下、緑を生かしていく視点が重視されていますが、一方で、緑の量が減らないようにしていくことも非常に重要であると思います。さいたま市の緑の中心には見沼田圃があり、その見沼田圃から具体的な成果を出していくことも重要であり、民間企業の関心も高いと思います。

委員の皆様のご協力のもと、円滑に議事を進行することができました。以上で本日の議事を終了とさせていただきます。皆様、御協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局 はい、ありがとうございます。事務局の方から、一つ御提案がございしますが、よろしいでしょうか。本日の御意見等を踏まえ、緑の基本計画改定の素案の取りまとめは、深堀会長の一任でよろしいでしょうか。また本審議会として答申する素案につきましては、深堀会長及び会長代理の倉林委員のお二人から、4月下旬に直接本市に御来庁して頂き、答申して頂くということによろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

事務局 深堀会長、倉林委員、素案の取りまとめの一任と答申について、よろしいでしょうか。

深堀会長 わかりました。

倉林委員 わかりました。

事務局 (閉会挨拶)

これもちまして、令和4年度第2回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会を閉会といたします。本日は、誠にありがとうございました。